

令和7年度
(2025)

事業報告書

決算報告書

一般社団法人 日本善行会

令和7年度事業報告(案)

一般社団法人日本善行会は昭和12年の設立以来、本年で88年を迎え、本会の主要事業である善行表彰事業は春季・秋季ともに75回を重ねた。

本年度も、全国各地の会員が、福祉の向上や環境美化・青少年の健全育成等のための活動を展開した。

機関紙「明るいニュース」及びホームページ等により、善行実践活動例や活動展開の参考となる情報を広く提供し、善行実践活動の推進と善行精神の高揚化を図るための広報啓発活動を強化するとともに、会員同志の意見の交流にも努めた。

本会が令和7年度に実施した事業や活動は次のとおりである。

1. 善行の表彰

国、地方公共団体、諸団体、在日外国諸機関及び本会各地支部から推薦を受けた多数の社会貢献活動を、選考委員会の厳正な審議を経た後、受賞者を決定して表彰した。

(1) 春季善行表彰式（青少年善行表彰・緊急時貢献表彰・国際貢献表彰・外国人善行表彰）

第75回春季善行表彰式を令和7年5月17日(土)明治神宮参集殿において挙行し、

青少年善行表彰	23名	17団体
緊急時貢献表彰	24名	
国際貢献表彰	1名	6団体
外国人表彰	3名	

合計51名と23団体、合わせて74件を表彰した。

(2) 秋季善行表彰式（成人善行表彰）

第75回秋季善行表彰式を令和7年11月29日(土)明治神宮参集殿において挙行し、292名と57団体、合計349件を表彰した。

(3) 感謝状等表彰

春季善行表彰個人10件に感謝状を贈った。

(4) 特別善行金章・銀章表彰

令和7年5月17日(土)明治神宮参集殿において、特別善行金章44名、善行銀章89名、合計133名を表彰した。

以上の結果、令和7年度末日までの表彰総数は51,157件となり、感謝状等贈呈者総数15,520件をこれに加えると、全表彰数は66,677件となった。

2. 長寿善行者集いの会(秋篠宮皇嗣殿下ご接見)

令和7年9月29日(月)明治記念館にて開催した。本会の善行表彰を受賞した方々の中から、現在も善行活動を継続し、かつ、満70歳に達した長寿善行者68名が、昼食懇親の後、赤坂東邸において、秋篠宮皇嗣殿下からご接見の栄誉を賜った。

3. 善行実践活動

本年も支部と地域住民が一体となって行った活動、芸能奉仕団員が行った活動、会員が自主的に行った活動は、各方面から高い評価を得ることができた。

(1) 青少年健全育成

支部及び会員は、非行防止のパトロール、地域子供会活動等のほか、国、地方公共団体、関係諸団体が提唱する活動にも参加した。

(2) 福祉の増進

芸能奉仕団と支部及び会員は、各地で高齢者福祉施設、心身障害児者施設、恵まれない子供のための施設、介護福祉施設等への慰問を行うとともに、チャリティーゴルフコンペの開催と収益金の児童福祉施設への寄付、地域文庫やみんなの居場所活動、社会を明るくする運動での黄色い羽根等の配布、その他各種募金活動等を積極的に展開した。

(3) 交通安全運動

支部及び会員は、春・秋の交通安全運動に本会独特の「折り鶴運動」で参加し、折り鶴を配布、また、シルバー交通安全の集い、交通安全の実地指導会の開催等を実施した。

(4) その他の活動

支部及び会員は、公共施設、道路、河川、海岸等の清掃活動を実施、春・秋の清掃ハイキングの実施、各施設への草花の植栽、地域区民祭りへの協力、自然災害被災者の支援活動、国際交流活動、地域の防犯、防火、防災活動にも取り組んだ。

4. 広報啓発活動

月刊紙「明るいニュース」は善行に関する諸情報を広く提供して善行精神の高揚化を図り、紙面で表彰受賞者の功績を称え励ました。更に紙面を通し支部及び会員との連携を強化した。

また、インターネットの本会公式ホームページにおいても、本会の事業を社会へアピールすることで善行の普及活動に努めた。加えて、本会の公式 Facebook ページにて、適時にイベントの内容等を配信し、本会の知名度の向上を図った。

5. 組織の拡充強化と会員の増強

本会活動の強化や社会貢献活動の輪を広げることを目指し、会員の新規加入に努めた。今年度の普通会員、特別会員(正会員)及び賛助会員の総数は2,500名余となった。

6. 財政基盤の強化

令和7年度は本会財政にとっては厳しいものがあつた。こうした状況下にあつて、地方公共団体からの助成金や個人・企業からの寄付の確保、全国の支部による本会財政基盤強化と善行活動の推進等が、本会財政の大きな支えとなつた。

また、本会の財政基盤の強化について検討するため、令和5年度に設置した財政検討委員会を継続して開催し、収入増と経費削減のための施策を検討し実施した。

7. 諸会議の開催

(1) 総会

令和7年6月11日(水)グランドヒル市ヶ谷において開催し、「令和6年度の事業報告及び収支決算報告」を審議し議決した。

(2) 理事会

- ① 令和7年5月7日(水)本会定款32条2項に基づくみなし決議(第1回理事会)により、令和6年度事業報告書及び決算報告書を議決した。
- ② 令和7年6月11日(水)グランドヒル市ヶ谷において、第2回理事会を開催し、新支部の設置を議決した。
- ③ 令和7年9月8日(月)グランドヒル市ヶ谷において、第3回理事会を開催し、表彰選考委員会の設置及び運営に関する規程、寄付金取扱規程の制定を議決した。
- ④ 令和8年3月27日(金)グランドヒル市ヶ谷において、第4回理事会を開催し、令和8年度事業計画及び収支予算、令和8年度定時総会の開催等について審議し議決した。

(3) 支部長会

令和7年9月8日(月)グランドヒル市ヶ谷において開催し、各支部の活動状況の報告や本会の活動全般についての活発な意見交換を行った。

(4) 常務理事会

令和7年度は、常務理事会を7回開催し、会の運営について審議した。

(5) 全国支部ブロック会

全国で4ブロックが会合を開催し、ブロック内支部の交流と意見交換を行った。

(6) 財政検討委員会

日本善行会の財政の現状に鑑み、役員及び監事によって構成される財政検討委員会を、令和7年6月11日(水)、9月8日(月)及び令和8年3月27日(金)の3回にわたり、グランドヒル市ヶ谷において開催し、幅広い角度から本会財政の検討を行い、財政の健全化を図るための施策を審議した。

貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度末	前年度末	増 減
I. 資産の部			
1 流動資産	92,810,002	102,298,019	△ 9,488,017
現金	200,000	200,000	0
預金	92,610,002	102,098,019	△ 9,488,017
仮払金	0	0	0
2 固定資産	2,602,115	2,300,018	302,097
特定資産	2,602,115	2,300,018	302,097
事業引当金預金等	2,602,115	2,300,018	302,097
資 産 合 計	95,412,117	104,598,037	△ 9,185,920
II. 負債の部			
1. 流動負債	38,592	49,233	△ 10,641
預り金	38,592	49,233	△ 10,641
仮受金	0	0	0
前受金	0	0	0
負 債 合 計	38,592	49,233	△ 10,641
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	95,373,525	104,548,804	△ 9,175,279
一般正味財産	95,373,525	104,548,804	△ 9,175,279
正 味 財 産 合 計	95,373,525	104,548,804	△ 9,175,279
負債及び正味財産合計	95,412,117	104,598,037	△ 9,185,920

令和7(2025)年度 正味財産増減計算書

(令和7年4月1日から令和7年3月31日)

(単位:円)

勘定科目	本年度決算	前年度決算	差 異	備 考
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①受取会費	12,845,548	12,343,250	502,298	
普通会員会費収入	10,889,048	10,257,500	631,548	2,178名
特別会員会費収入	1,720,000	1,820,000	△ 100,000	172名
賛助会員会費収入	236,500	265,750	△ 29,250	118名
②寄付金品等収入	4,080,000	2,106,825	1,973,175	
団体等寄付金品収入	410,000	440,000	△ 30,000	区市役所
寄付金等収入	3,670,000	1,666,825	2,003,175	
③雑収入	258,063	343,947	△ 85,884	
利息収入	59,334	7,451	51,883	
雑収入	198,729	336,496	△ 137,767	頒布品
経常収益計	17,183,611	14,794,022	2,389,589	
(2) 経常費用				
①事業費支出	19,066,462	21,665,513	△ 2,599,051	
給料手当支出	6,298,200	7,617,320	△ 1,319,120	職員
福利厚生費支出	912,515	911,290	1,225	社会保険料、他
旅費交通費支出	1,514,570	1,571,305	△ 56,735	職員、表彰関係
褒章費支出	2,138,675	2,979,625	△ 840,950	善行章、楯、賞状等
会議費支出	1,309,832	1,385,279	△ 75,447	表彰式会場、選考委員会、他
通信運搬費支出	2,977,478	3,750,569	△ 773,091	ニュース、表彰関係、他
消耗品費支出	624,293	370,235	254,058	名入筒、リボン、他
印刷製本費支出	2,248,394	2,073,863	174,531	表彰名簿、表彰状、ニュース、他
諸謝金支出	424,000	392,000	32,000	表彰式、お手伝い、他
雑費支出	618,505	614,028	4,478	表彰式、ご接見他
②管理費支出	7,292,428	7,355,899	△ 63,471	
給料手当支出	774,260	671,196	103,064	職員
福利厚生費支出	47,053	46,800	253	社会保険料、新聞
旅費交通費支出	267,007	314,866	△ 47,859	通勤費
会議費支出	1,713,627	1,710,553	3,074	総会、理事会他
通信運搬費支出	1,110,989	923,777	187,212	総会通知、電話他
備品消耗品費支出	142,542	545,763	△ 403,221	会員章、事務封筒他
修繕費支出	17,000	36,190	△ 19,190	パソコン、他
印刷製本費支出	135,317	95,719	39,598	コピー、FAX他
水道光熱費支出	268,454	254,518	13,936	
賃借料支出	2,142,888	2,142,888	0	事務所家賃、他
租税公課支出	92,570	165,090	△ 72,520	法人都市税、登記等
支払利息支出	0	0	0	借入金利息
財政検討委員会支出	0	4,703	△ 4,703	

交際費支出	43,744	25,672	18,072	慶弔等
雑費支出	536,977	418,164	118,813	支部長会、ブロック会、保険、他
経常費用計	26,358,890	29,021,412	△ 2,662,522	
当期経常増減額	△ 9,175,279	△ 14,227,390	5,052,111	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0		
経常外収益計	0	0		
(2) 経常外費用	0	0		
経常外費用計	0	0		
当期経常外増減額	0	0		
当期一般正味財産増減額	△ 9,175,279	△ 14,227,390	5,052,111	
一般正味財産期首残高	104,548,804	118,776,194	△ 14,227,390	
一般正味財産期末残高	95,373,525	104,548,804	△ 9,175,279	
II. 指定正味財産増減の部				
指定正味財産期首残高	0			
指定正味財産期末残高	0			
III. 正味財産期末残高	95,373,525	104,548,804	△ 9,175,279	

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

事業引き当て預金等運用の有価証券は、購入価格で計上している。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産 事業引当金	2,300,018	302,097	0	2,602,115
合 計	2,300,018	302,097	0	2,602,115

財 産 目 録

令和8年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額		
(資産の部)			
1 流動資産			
現 金 現金手許有高	200,000		
預 金			
振替貯金 東京地方貯金局	173,503		
みずほ銀行	89,206		
商工組合中央金庫	14,793		
商工組合中央金庫(定期)	10,000,000		
普通預金 三菱UFJ銀行	4,332,500		
定期預金 三菱UFJ銀行	78,000,000		
流 動 資 産 合 計		92,810,002	
2 固定資産			
事業引当預金等			
定期預金 三菱UFJ銀行	2,602,115		
固 定 資 産 合 計		2,602,115	
資 産 合 計			95,412,117
(負債の部)			
1 流動負債			
預り金	38,592		
流 動 負 債 合 計		38,592	
負 債 合 計			38,592
正 味 財 産			95,373,525

前記のとおり報告いたします。

令和8年4月21日

一般社団法人 日本善行会

会 長	勝 野 堅 介	理 事	高 橋 睦 夫
副会長	相 澤 克 也	〃	千 葉 修
〃	高 田 修	〃	鳥 巢 正 行
〃	山 下 純雲子	〃	中 嶋 光 子
常務理事	石 毛 利 雄	〃	永 津 勝 彦
〃	黒 澤 猛	〃	西 村 弘
〃	島 村 弘 子	〃	平 井 憲太郎
〃	松 本 カネ子	〃	松 井 猛
理 事	太 田 征 二	〃	宮 村 文 隆
〃	栗 原 忍	〃	安 田 権 寧
〃	黒 崎 一 嘉	〃	山 崎 久 夫
〃	黒 瀧 信 行	〃	やまだ 加奈子
〃	小 島 力		

監 査 報 告 書

一般社団法人日本善行会の令和7年度業務及び収支決算につき、
監査の結果、これを適正と認めます。

令和8年4月21日

一般社団法人 日本善行会

監 事 浦 野 秀 樹



監 事 久 保 猛



監 事 志 村 宗 男



令和8年4月21日

令和7年度決算についてのご説明

R7(2025)年度事業報告書・決算報告書 6 ページの「令和7(2025)年度正味財産増減計算書」をご覧ください。本年度と昨年度の決算額を記載しております。

(1) 経常収益

前年度に比較し、受取会費(会費収入)が 50 万円増、寄付金収入が 200 万円増となり、経常収益は 239 万円増の 1,718 万円となりました。

(2) 経常費用

事業費:

事務局長の業務引継期間の終了等により事業費人件費が△132 万円減、褒章費はメダルやバッジの購入済の効果により 84 万円減、明るいニュースの隔月発行等により通信運搬費が 77 万円減、他方、消耗品費や印刷製本費が増加し、事業費合計は、前年度に対し、260 万円減の 1,906 万円となりました。

管理費:

科目によって増減があったものの、前年度と同程度の管理費合計は、729 万円となりました。

その結果経常費用は、事業費と管理費とを併せ、前年度に対し 266 万円減の 2,635 万円となりました。

(3) 経常収支

以上の収益と費用の結果、R7 年度は、前年度比較で収支が 505 万円改善し、▲917 万円となりました。

○ R8 (2026)年度の収支見込み

R8年度の収支は、引き続き経費の削減に努めるものの、諸物価の高騰に鑑み、▲1,075 万円と見込んでおります。